

令和7年11月に発生した農作業死傷事故 1月のワンポイント 農林水産省HP等による公表

タイトル： 野焼きの延焼に要注意！

＜11月に発生した農作業死傷事故：14件＞ うち農業機械作業に係るもの：9件

- 11月は6件の死亡事故を含む14件の死傷事故が報告されました。
- 死亡事故には、先月に引き続き「農用運搬車」による事故も含まれており、機械後進中に転倒し、機械にひかれ死亡にいたっています。
- 機械の後進時の事故は、農用運搬車だけでなく、耕うん機（歩行型トラクター）でも多く発生しています。
- 農業機械を操作しながら後進をする際には、
 - ①前後進の設定がきちんとできているか確認
 - ②躓きを防ぐため、発進前に足元に障害物や段差などがないことを確認
 - ③挟まれを避けるため、発進前に後方に立木などの障害物がないことを確認することを意識しましょう。

＜1月のワンポイント＞

- 冬は空気の乾燥や強風などにより火災が起きやすいことから、稲わらや剪定枝などを焼却する場合には、予想外の延焼や衣服への燃え移り等による事故に注意が必要です。
- 過去の事故事例では、強風の影響で広範囲に燃え広がり、消火活動中に火に巻き込まれる、隣接する休耕田に燃え広がり5ha以上の農地が焼失するなどの事例が報告されており、気が付いた時には手遅れとなるケースが散見されます。
- まずは、「野焼きをしない」をいう選択肢がないか今一度考えてみましょう。どうしても野焼きを行う必要がある場合でも、乾燥している日や風が強い日は避けましょう。作業に当たっては、消火用の水を確保する、いざというときの対応（消火方法と、非常連絡方法）を確認する、前開きの脱ぎやすい服を着用する等の準備をしてからにしましょう。

野焼きを行う際の対策



冬は延焼リスクが高い

